

一般貸切旅客自動車運送事業法令試験問題

令和8年4月実施

【注意事項】

1. 試験時間は、40分です。
2. 試験開始の合図があるまで、問題は開けないでください。
3. 問題用紙は、表紙を含めて5枚です。
4. 問題用紙は、持ち帰らないでください。
5. 不正な行為をされた場合は、直ちに受験を停止し、退場いただきます。
なお、試験は不合格になります。
6. 解答が終わり途中退室を希望される方は、挙手にて係員にお知らせください。
係員が試験問題等を回収した後、他の受験者の迷惑とならないよう静かに退出ください。

※携帯電話等の電源は他の受験者の迷惑となりますので、必ず電源をお切りください。

近畿運輸局

一般貸切旅客自動車運送事業の許可申請に係る法令知識について

- ・以下の各設問の()内に、関係法令を踏まえ、最も適切な語句を〔 〕から選択し、別紙の解答用紙に記入してください。

-
1. 一般貸切旅客自動車運送事業者は、点呼を行ったときは、その状況を録音及び録画(電話その他の方法により点呼を行う場合にあつては、録音のみ)して電磁的方法により記録媒体に記録し、かつ、その記録を()保存しなければならない。

[A. 六十日間 B. 九十日間 C. 百二十日間]

-
2. 旅客自動車運送事業者は、()に対し、輸送の安全及び旅客の利便を確保するため誠実に職務を遂行するよう指導監督しなければならない。

[A. 乗務員等 B. 従業員 C. 運行管理者]

-
3. 輸送の安全を確保するための貸切バス選定・利用ガイドラインは、安全や()の向上に意欲的に取り組んでいる貸切バス事業者が利用者に選択されることを促進することを目的としている。

[A. コンプライアンス B. 安心 C. 利用者サービス]

-
4. 旅客自動車運送事業者は、運転者として新たに雇い入れた者に対して、事業用自動車の運行の安全を確保するために遵守すべき事項について特別な指導を行い、かつ、国土交通大臣の認定を受けた()を受けさせなければならない。

[A. 指導教育 B. 健康診断 C. 適性診断]

-
5. 自動車運送事業の用に供する自動車は()ごとに定期点検整備をしなければならない。

[A. 三月 B. 六月 C. 一年]

-
6. 運転者の連続運転時間は()時間が限度である。

[A. 2 B. 3 C. 4]

7. 一般旅客自動車運送事業者は、()により、旅客の運送をしなければならない。
[A. 車両に乗り込んだ順序 B. 運送の申込みを受けた順序 C. 運賃等を支払った順序]

8. 旅客自動車運送事業者は、()以内の期間を定めて使用される者を事業用自動車の運転者等として選任してはならない。
[A. 二月 B. 六月 C. 一年]

9. 旅客自動車運送事業者は、事業計画の遂行に十分な数の事業用自動車の運転者を常時()しておかなければならない。
[A. 確保 B. 選任 C. 募集]

10. 旅客自動車運送事業者は、運行管理者を選任した場合は、当該届出事由の発生した日から()以内に営業所の所在地を管轄する運輸監理部長又は運輸支局長に届け出なければならない。
[A. 十日 B. 十五日 C. 三十日]

11. 旅客自動車運送事業者は、()状態にある乗務員等を事業用自動車の運行に従事させてはならない。
[A. 運転が可能な B. 集中力が欠落した C. 酒気を帯びた]

12. 旅客自動車運送事業者は、()の責務を定めることその他国土交通大臣が告示で定める措置を講ずることにより、絶えず輸送の安全性の向上に努めなければならない。
[A. 経営の責任者 B. 事業の責任者 C. 運行の責任者]

13. 旅客自動車運送事業者は、事業用自動車の運転者等ごとに、一定の様式の()を作成し、これを当該運転者等の属する営業所に備えておかなければならない。
[A. 履歴書 B. 乗務員等台帳 C. 乗務員証]

14. 旅客自動車運送事業者は、自動車が転覆し、転落し、火災を起こし、又は鉄道車両と衝突し、若しくは接触した事故であり、死者又は重傷者を生じた場合は、電話その他適当な方法により、()以内においてできる限り速やかに、その事故の概要を運輸監理部長又は運輸支局長に速報しなければならない。
[A. 十二時間 B. 二十四時間 C. 四十八時間]

15. 一般旅客自動車運送事業者は、天災その他やむを得ない事由がある場合のほか、()に定めるところに従い、その業務を行わなければならない。

[A. 運行管理規程 B. 就業規則 C. 事業計画]

16. 旅客自動車運送事業者は、事業用自動車内に、当該事業者の氏名又は名称及び当該自動車の()を旅客に見やすいように表示しなければならない。

[A. 営業区域 B. 自動車登録番号 C. 許可(免許)番号]

17. 輸送の安全を確保するための貸切バス選定・利用ガイドラインは、旅行業者、地方自治体、学校関係者等の利用者に貸切バス事業者の選定に際して、運行の安全面のポイントを分かりやすく示すことにより、単純な()比較のみで選ぶのみではなく、より安全にも留意した選定を促すことを目的としている。

[A. サービス B. 価格 C. 車両]

18. 旅客自動車運送事業者は、天災その他の理由により輸送の安全の確保に支障が生ずるおそれがあるときは、事業用自動車の()に対する必要な指示その他輸送の安全のための措置を講じなければならない。

[A. 乗務員等 B. 旅客 C. 車両]

19. 一般旅客自動車運送事業者は、一般旅客自動車運送事業の健全な発達を()結果を生ずるような競争をしてはならない。

[A. 助長する B. 阻害する C. 確保する]

20. 一般貸切旅客自動車運送事業の許可は、()ごとにその更新を受けなければ、その期間の経過によつて、その効力を失う。

[A. 三年 B. 五年 C. 七年]

21. 一般旅客自動車運送事業者は、発地及び着地()その営業区域外に存する旅客の運送(路線を定めて行うものを除く)をしてはならない。

[A. のいずれもが B. のどちらかが C. に関係なく]

22. 一般貸切旅客自動車運送事業者は、アルコール検知器を用いて運転者の酒気帯びの有無について確認を行うときは、当該確認に係る呼気の検査を行っている状況の写真(当該運転者を識別できるものに限る。)を撮影して電磁的方法により記録媒体に記録し、かつ、その記録を()保存しなければならない。ただし、当該状況を録画する場合はこの限りでない。

[A. 六十日間 B. 九十日間 C. 百二十日間]

一般貸切旅客自動車運送事業者は、()に運行指示書を作成する。

23.

[A. 運転者等ごと B. 車両ごと C. 運行ごと]

一般貸切旅客自動車運送事業者は、旅客の運賃及び料金を定め、()国土交通大臣に届け出なければならない。これを変更しようとするときも同様とする。

24.

[A. あらかじめ B. 事後に C. 運送開始前に]

「旅客自動車運送事業運輸規則第47条の7第1項の規定に基づき、旅客自動車運送事業者が公表すべき運輸の安全に関する事項(国土交通省告示第1089号)」において()については、公表すべき事項として定められていない。

25.

[A. 事務員の数 B. 輸送の安全に関する基本的な方針 C. 輸送の安全に関する目標の有無及びその達成状況]

旅客自動車運送事業者は、その事業用自動車非常信号用具、非常口又は消火器を備えたものであるときは、当該自動車の()等に対し、これらの器具の取扱いについて適切な指導をしなければならない。

26.

[A. 運転者 B. 乗務員 C. 旅客]

旅客自動車運送事業者は、事業用自動車に係る事故が発生した場合には、乗務員等の氏名等の記録を当該事業用自動車の運行を管理する営業所において()保存しなければならない。

27.

[A. 六ヶ月間 B. 一年間 C. 三年間]

・以下の文章のうち正しいものには○印を、誤っているものには×印を別紙の解答用紙に記入してください。

28. 一般貸切旅客自動車運送事業者は、事業用自動車の運転者等ごとに作成する乗務員等台帳に、運転者の運転の経歴を記載しなければならない。

29. 事業者は、夜間において長距離の運行を行う事業用自動車に乗務する運転者等に対して、当該乗務の途中において少なくとも一回電話その他の方法により点呼を行わなければならない。

30. 旅客自動車運送事業者は、事業用自動車に係る事故が発生した場合には、事故の概要について記録するとともに、その記録を3年間保存しなければならない。

一般貸切旅客自動車運送事業の法令試験の解答用紙

申請者名

受験者名

採 点
点

(問題1～27は【A・B・C】のいずれかを記入してください。)

問題 1	問題 2	問題 3	問題 4	問題 5	問題 6	問題 7	問題 8	問題 9
B	B	C	C	A	C	B	A	B

問題 10	問題 11	問題 12	問題 13	問題 14	問題 15	問題 16	問題 17	問題 18
B	C	A	B	B	C	B	B	A

問題 19	問題 20	問題 21	問題 22	問題 23	問題 24	問題 25	問題 26	問題 27
B	B	A	B	C	A	A	B	C

(問題28～30は【O・×】のいずれかを記入してください。)

問題 28	問題 29	問題 30
O	O	O